

めいいか

令和4年4月28日
文京区立明化幼稚園

身近な人との関わりの中で

園長 野田久美子

木々の緑がまぶしく、爽やかな風が吹く季節を迎えました。子どもたちは、入園、進級の緊張が少しずつ解け、幼稚園で安心して過ごせるようになってきています。

年長児は、入園式後の2週間、年少児の身支度を手伝いました。始めのうちは年長児に身を委ね、全てやってもらっていた年少児も、少しずつ自分でやってみたい気持ちが出てきました。A児（年少児）は、上履きを履かせてくれようとしたB児（年長児）の手を「自分で」と言わんばかりに払い、一人で上履きを履こうとしました。ところがうまく履けません。じっとA児の様子を見ていたB児は、しばらくするとA児の横に座り、自分の上履きを脱ぎました。B児はどうして自分の靴を脱いでいるのか不思議に思って様子を見てみると、脱いだ上履きをA児に見せながらまた履いてみせました。B児はA児に上履きの履き方を実際にやって見せてくれたのです。その後、A児はB児の真似をして一人で上履きを履くことができました。A児の気持ちに添いながらどうすればいいか考えながら行動したB児の姿に成長を感じ、温かい気持ちになりました。

年中児は、自分で作ったこいのぼりを持って十中に散歩に行きました。帰る時、昇降口で手を振ってくれた中学生に伝えて年中児が手を振ると、「キャー、かわいい」と中学生から歓声が上がりました。「かわいいだって」と照れながらもうれしそうな子どもたちでした。

子どもたちは、身近な人との温かな関わりを通して、人への信頼感をもち、自己を発揮していきます。人と関わる中で、自分の思い通りにいかないことや、意見がぶつかることも経験します。そのような過程の中で、自己を主張しながらも折り合いをつけることや、友達がいることで遊びや生活が楽しくなることを学びます。私たちは、子どもとの信頼関係を築きながら、子どもが多様な感情体験ができる場や機会を設け、自己をコントロールしていく力や人と関わる力が身に付くように援助していきます。保護者や地域の皆様と力を合わせ、子どもたちの健やかな成長を支えていきたいと考えております。



年少児の身支度の手伝い



こいのぼりを持って十中へ